

カーシート

取扱説明書

カーシートを快適にお使いいただくための大切な内容が記載されています。お使いになる前によくお読みいただき、また必要なときにはいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

本製品は、車内での姿勢の安定をはかることが目的であり、一般に販売されているチャイルドシートとは異なります。必ずシートベルトを着用してご使用ください。

カーシートの特長

- 背・座両面角度可変（新方式）
- 背・座スリング張り調節
- 座面奥行調節
- 体幹サポートインナーパッド及び座面前方ウェッジによるサポート調節
- 通気性に優れたシート素材



目次

- 安全にお使いいただくために……P1・2
- シートベルト併用のこと……P3
- 各部の名称……P3
- 製品構成……P3
- オプション……P3
- 使用前点検……P3
- 各部の取り扱い……P4
- 調節スリングシートについて……P5
- インナーパッドについて……P5
- お手入れ・メンテナンス……P6
- 仕様……P6

- ⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

● **警告** (使い方を誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定される事項です。)

- ❗ 必ず自動車の背もたれに固定して使用してください。
- ❗ 必ず自動車のシートベルトを使用してください。シートベルト使用の際はベルトが首などにかからないように注意してください。シートベルトの取り扱いについては自動車に備え付けの説明書に従ってください。
(身体状況などによりベルトの使用が困難な場合は処方者や取り扱い業者にご相談ください。)
この商品は車内での座位保持を目的としたものであり、国土交通省の認定等を受けた「チャイルドシート」ではありません。単体では万一の事故の際の安全を保証できません。
- ❗ 必ず胸ベルト・腰ベルト・肩ベルト等を使用してください。
(身体状況などによりベルトの使用が困難な場合は処方者や取り扱い業者にご相談ください。)
- ❗ 姿勢を直したり、ベルトを調節したりするときは必ず車を安全な場所に停止しておこなってください。
- ⊘ 本人を乗せたままの放置はしないでください。
- ⊘ 本人を座らせた状態で、抱えて移動しないでください。
- ⊘ 子供に操作させないでください。
- ⊘ フレームの折れ・曲がり、ベルト類のやぶれやマジックテープの劣化、各部が破損した状態での使用はしないでください。
- ⊘ 火気に近づけないでください。シートが燃えたり、フレーム本体が熱くなり、火傷するおそれがあります。
- ❗ 各部のガタやねじのゆるみは、思わぬ事故につながる可能性があります。定期的に不具合がないか確かめてください。
- ⊘ 改造や分解はしないでください。

● 注意 (使い方を誤ると、人が傷害を負う可能性、または物理的障害が 発生する可能性が想定される事項です。)

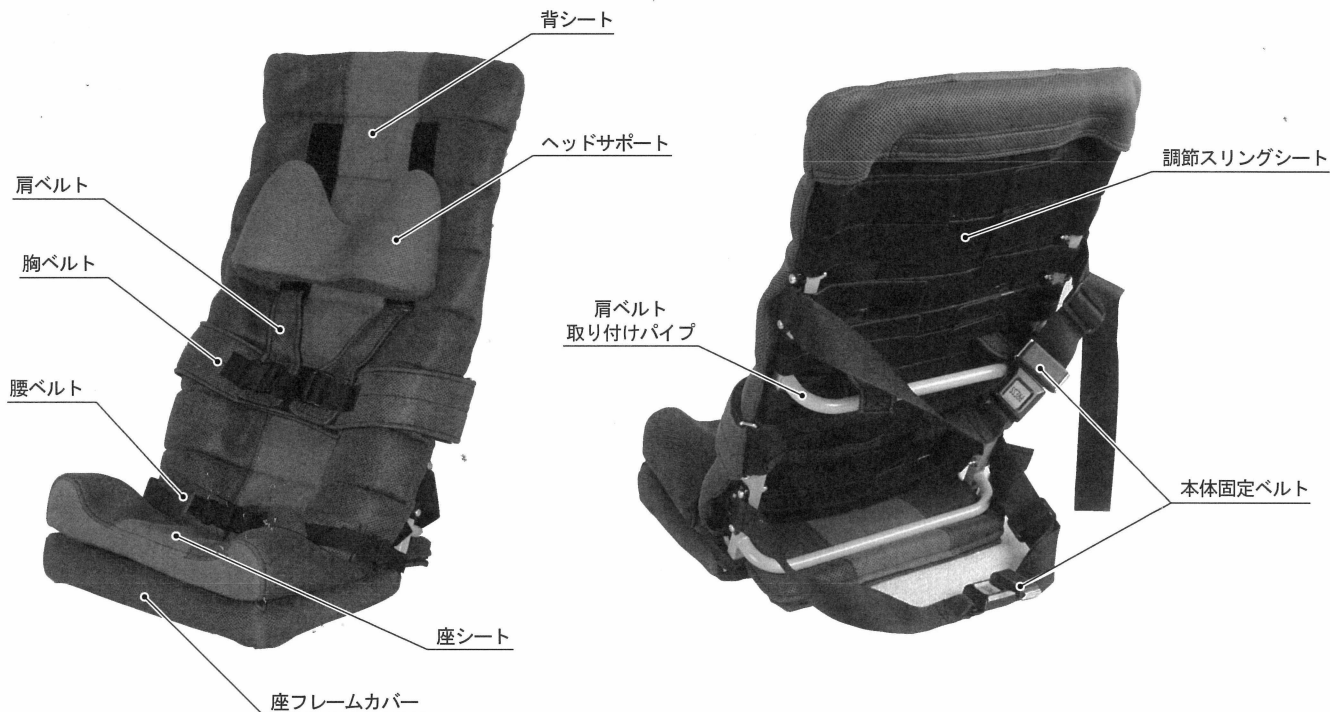
- ❶ 医師の処方で製作された場合
 - ⊖ 本人以外での使用はしないでください。
(個人用に処方されたものとなりますので、安易に貸し出したりしないでください。)
 - ⊖ 処方目的以外での使用はしないでください。
- ❶ 本人以外での使用はしないでください。他の人に譲り渡したり、貸し出したりしないでください。(補装具の制度で製作した場合)
- ❶ 直射日光や車内の温度上昇などでカーシート本体、バックル、金具部分等が熱くなっていることがあります。そのまま本人を乗せると火傷や体調不良を引き起こすおそれがあります。乗せる前に各部に触れてみて、熱くないことを確認した上で使用してください。
- ❶ 可動部分がありますので、指などをはさまないように注意して操作をおこなってください。
- ❶ 周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足をはさむなどして、けがをするおそれがありますので十分に注意してお取り扱いください。
- ⊖ 子供の遊び道具として使用しないでください。
- ⊖ 製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取り扱い、落としたり、たたいたりなど強い力や衝撃を与えないでください。フレームが破損することがあります。
- ⊖ 本人を座席や背もたれ等に立たせないでください。
- ⊖ 座席から身体を乗り出したような姿勢では使用しないでください。
- ⊖ 保護者・介助者等が寄り掛かったり、腰掛けとして使用しないでください。
- ⊖ 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- ⊖ 調節スリングシートやインナーパッドが不適切な状態での使用はしないでください。
- ⊖ 背・座シートを外した状態での使用はしないでください。
- ❶ 本人の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じることがあります。そのような場合には直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。
- ❶ 本人の体調が著しく低下しているときは、十分に注意して使用してください。
- ❶ 定期的に処方者・取り扱い業者のチェックを受けてください。
- ⊖ からだに合わない状態で使用しないでください。本人の成長や状態の変化を感じたときは、すみやかに処方者のチェックを受け、適切な指導のもとに取り扱い業者の調整を受けてください。
- ❶ 水にぬれた場合、そのままにしておくと部品に錆びが出ることがあります。乾いた布ですみやかに拭きとってください。
- ⊖ 入浴・プール等、水中での使用はしないでください。
- ❶ 保管するときは、湿度の高いところ、雨が降りかかるところを避けて、風通しのよい屋根のあるところで保管してください。

使用を取りやめるときには(不要になったときには)取り扱い業者にご相談ください。

シートベルト併用のこと

- この製品は車内での座位保持(安定)を目的としたものであり、単体では万一の事故の際の衝突安全規準を満たした物ではありません。
- 安全のために必ず自動車のシートベルトを使用してください。
市販の小児用のシートベルト調整用金具等を利用してシートベルトを正しく着用してください。
シートベルト着用の際はベルトが首などにかからないように注意してください。
シートベルトの取り扱いについては自動車に備え付けの説明書に従ってください。

各部名称



製品構成

		数 量
●基本フレーム		1
●調節スリングシート(背・座)		1
体幹サポート インナーパッド	体 幹 骨 盤	左右1対 左右1対
座面前方ウェッジ		1
●本体固定ベルト		1

		数 量
●シートユニット	背シート	1
	座シート	1
	ヘッドサポート	1
	胸ベルト	1
	肩ベルト	1
	腰ベルト	1

オプション

- 台形クッション

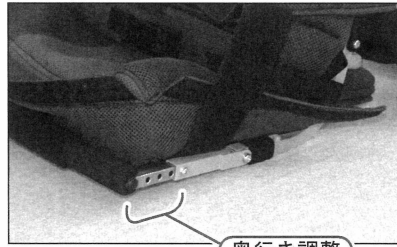
使用前点検

- ネジのゆるみやガタがないことを確認してください。
- 車のシートへの取り付けがゆるみなく正しく固定されていることを確認してください。
- 背もたれ角度、座面(股関節)角度が正しく設定されていることを確認してください。

各部の取り扱い

●座奥行き調整

座前方フレームの中パイプがボルトナットにより前後調節できます。



奥行き調整

●角度の調整について

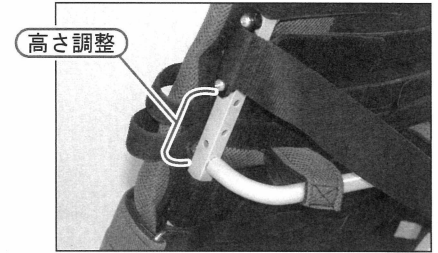
ご本人の状態にあうように、車のリクライニングを利用して背もたれ角度を調整してください。必要に応じ、前座下に台形クッションを置いて調整してください。



リクライニングを倒しすぎると、車のシートベルトが使用できず危険ですのでご注意ください。

●肩ベルト取り付けパイプ高さ調整

肩ベルト取り付けパイプは高さを調整することができます。肩の高さに合わせて調節してください。



●ベルト(胸用・肩用・腰用)

① ベルト類は安全のために体調に影響がない範囲で必ず装着してください。

■胸ベルト



胸ベルトは正面のバックルを差しこんで装着してください。体幹部の安定をはかります。

■肩ベルト



肩ベルト(左右)を胸ベルトの上に、しっかり貼り合わせてください。(マジック面)肩の安定をはかります。

■腰ベルト



腰ベルトは正面のバックルを差し込で装着してください。骨盤部の安定をはかります。

●車両への取り付け方



① 本体を車のシートに載せてください。



台形クッション

② 背の角度を決めてください。

① 必要に応じて台形クッションを使用してください。



③ 本体固定ベルト(2本)を車の背もたれにまわし、バックルをとめて固定してください。

① 必ず2本で固定してください。
① 固定ベルトは上下それぞれ最短距離にまわして固定してください。



④ 固定ベルトを締めてください。



⑤ 本体がしっかり固定されていることを確認してください。

① ぐらつきがあるときは、一旦本体固定ベルトのバックルをはずしてベルトを締め直してください。



⑥ 取り付けベルトの余りを三つ又環に通してください。

調節スリングシートについて

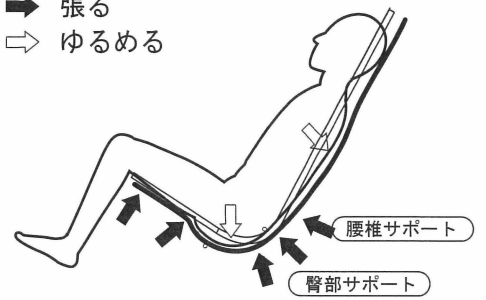
使用される方の身体特性に個別に対応し、リクライニングしたシートにゆったりと体をあずけていられるように、背・座のシート張り調整をおこなうことを目的としたものです。骨盤が前方に滑り出しにくくなるよう、また体幹部を背もたれにゆったりあずけていられるように（前方に押し出されないように）調整します。



・長期間使用するうちにスリングシートのたるみが生じることがあります。このようなときはシートの張り具合を再度調整してください。



➡ 張る
⇨ ゆるめる



座面は臀部（座骨周辺）をゆるめてお尻を包み込むようにし、座骨前方から大腿部はピンと張って臀部を安定させ、前滑りを起きにくくするのが一般的です。

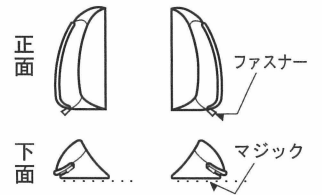
体幹サポートインナーパッドの取り扱いについて

調節スリングシートの張り具合で、骨盤が前方に滑り出しにくくなるように、また体幹部を背もたれに預けていられるように矢状面のサポートを調節します。調節スリングシートの水平面でのカーブの形状により、側方からのサポートがある程度得られますが、側方からのサポートを追加する目的で体幹サポートインナーパッドを uses。

体幹サポートインナーパッドは、右記のように4個セットになっています。調節スリングシートにインナーパッドを取り付けて、その上から背シートを取りつけて使用します。

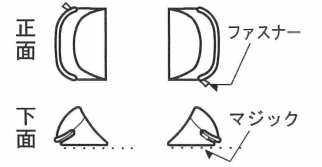
体幹パッド (2個)

- ・左、右別
- ・ファスナーがついている方が外側、先端が細い方が上側です。
- ・マジック面がスリングシート側です。



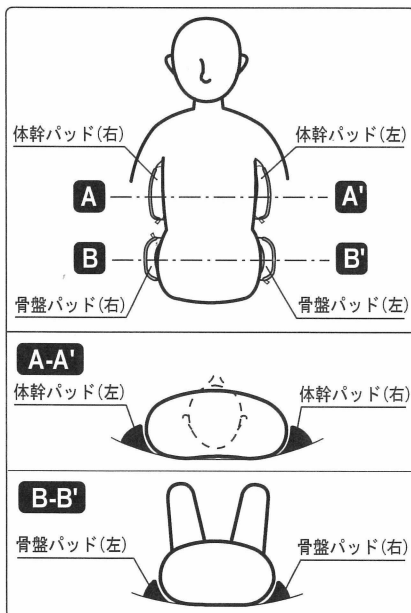
骨盤パッド (2個)

- ・左、右共通
- ・ファスナーがついている方が外側です。
- ・マジック面がスリングシート側です。



① 調節スリングシートの張り調節を先におこないます。

② 体幹パッド、骨盤パッドを本人の状況・体型に合わせて、またサポートの方向に配慮してパッドを調節スリングシートに取りつけます。



【体幹パッド】

○側弯などの影響で姿勢の崩れに左右差がある場合には、取り付け位置・高さが左右非対称になる場合もあります。

○ろっ骨下部から胸郭の重みを受け止めるように体幹部の側方をサポートし、体幹部の横倒れや水平面方向のころがりを防ぐよう、調節スリングシートと胸郭とのくさび状の隙間を埋めるように取り付けます。

【骨盤パッド】

○骨盤部の中央あたりの高さで、骨盤の傾きなどにも注意して、骨盤部からの横倒れや水平方向のころがりを防ぐよう、調節スリングシートと骨盤部とのくさび状の隙間を埋めるように取り付けます。

③ 必要に応じてインナーパッドの形状を変更調節します。

○パッドはファスナー式になっています。必要に応じ、中のクッションを取り出し、クッションを削るなどして形状の調整をしてください。

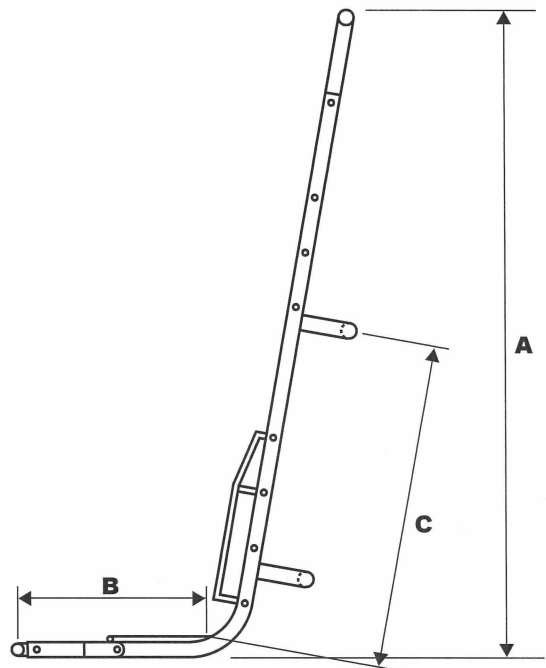
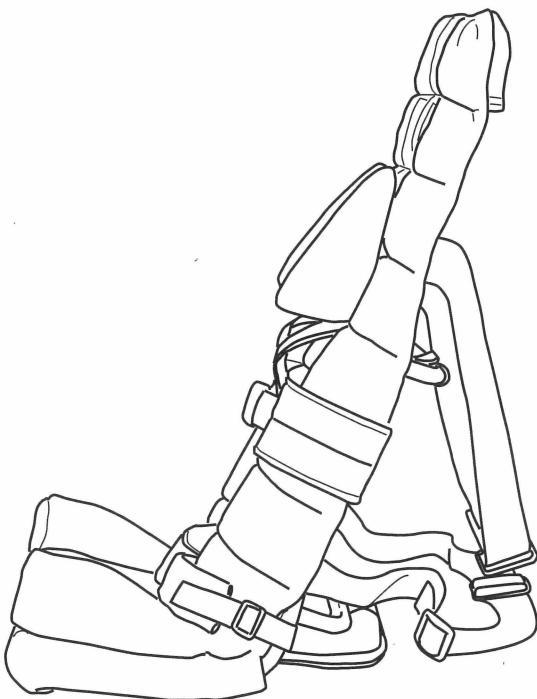
お手入れ・メンテナンス

- ネジのゆるみやガタがでてきたときは、締めなおしてください。ネジが締まらなかったり、すぐゆるんだりする場合は、取り扱い業者にご相談ください。
- シートを洗うときは、マジックテープを内側になるように二つ折りにした状態で、きれいに折りたたみ、軽く押し洗いするか、洗濯ネットに入れるなどして、生地を傷めにくい方法で洗ってください。洗ったあとは、陰干しして乾燥させてください。
- インナーパッド、ヘッドサポートは、ファスナーによる開閉式です。ファスナーを開き、中のクッションを取りだしてからカバーを上記の要領で洗濯してください。
- 泥や汚れを落とすときは、強く絞ったタオルなどで拭いてください。
- フレームは、直接水をかけて洗わないでください。各部に錆が発生して故障や事故につながる恐れがあります。フレーム塗装部分をたわしなどで強くこすると傷が付き、塗装が剥がれることがあります。
- 調整や修理などは、まずお買い上げの取り扱い業者にご相談ください。
- 背シート・座フレームカバーは、フレーム本体を覆うように作られています。フレーム本体が露出しないようにしっかり被せてください。
- 保管するときは、湿度の高い場所や雨が降りかかる場所を避けてください。雨や水のかからない風通しのよい場所で保管してください。雨や水にぬれると、各部品、機構にサビが生じるなどして故障の原因になります。また湿度の高い場所では、シートにカビが生えるなどして生地を損なうばかりでなく、健康に害をおよぼすおそれがあります。

仕様

	単位	Sサイズ	Mサイズ	Lサイズ
背幅・座幅	mm	370	390	410
背高さ (A)	mm	690	760	810
座奥行き (B)	mm	200~245	240~300	280~370
肩ベルト取付パイプ高さ(C)	mm	350~440 (30mmピッチ4段階)	380~470 (30mmピッチ4段階)	440~530 (30mmピッチ4段階)
基本重量	Kg	約4.5	約5.1	約5.7
調節スリングシート		ナイロン100%		
シートユニット		ポリエステル100%		
対象年齢(身長)	cm	約90~110	約100~130	約120~140

※基本重量=基本のシートユニットを取り付けた場合の重量



取り扱い業者・連絡先

2017. 5. 29